

山田マシツル 超ハイテン鋼対応 高耐久刻印 車用打刻機向け

山田マシツル（東京都台東区、山田雅英社長）は、1・5ギガ級の超高張力鋼板（超ハイテン鋼）に対応する高耐久刻印を開発した。特殊ハイス（高速度鋼）の採用と製造法の工夫により、耐久性を従来品比10倍に高めた。自動車用鋼製部品にマーキングする打刻機に搭載する。すでにこの対応打刻機の受注を始めており、2021年度は2台の納入が決まった。22年度以降に完成車メーカーを中心に拡販を図る。

マーキングは自動車 際、刻印が欠損しやすなどの品質管理の証とい。このため高耐久性として、1台当たり30を特徴とする刻印が求0-400カ所の部品に施す。軽量化目的で自動車に超ハイテン鋼を開発した高耐久刻印を採用するケースが増は、素材として特殊なえている。超ハイテン処理を施したハイスを鋼は硬いため打刻の採用した。また製作工



山田マシツルの高耐久刻印を搭載した打刻機

程では、小径砥石に超音波振動を加える研削と、滑らかな表面処理を可能にするヘリカルスキヤン研削を組み合わせた。これにより欠損につながるバリやツールマーク（加工痕）を抑える。これまで同社は、超

硬カッターでハイスに一刀彫りする手法で刻印を製作してきた。今開発した刻印の耐久打刻回数は、従来に比べ10倍の約29万回に向上した。山田マシツルは高耐久刻印を日本工業大学やトラックメーカーなどの産学連携で開発した。

（物）に押しつけて打刻する。高耐久刻印も同様の打刻機に取り付けて使う。価格は個別見積もり。